

さらき

第277号

令和3年12月24日

発行：更木町振興協議会
更木地区交流センター

TEL/FAX:0197-66-2569

saraki-kc@chime.ocn.ne.jp

http://www.saraki-kitakami.org



町内の動き (対前月比)

人口:1,041人 -1人

男 495人 0

女 546人 -1人

世帯数:417世帯 +2

第40回更木地区文化祭が 開催されました



更木地区交流センターでは11月6日(土)7日(日)の2日間、更木地区文化祭を開催しました。地区の方々やサークル、児童生徒や幼稚園児、学童保育、八天の里利用者の皆さんから出展していただいた力作の数々が来場者の目を楽しませてくれました。また、特別企画展として利根山光人美術展を開催することができ、なかなか見る機会がなかった作品の数々を鑑賞することができました。

初日は産直市も開催し、たくさんの新鮮な野菜や果物、ケーキや加工品が販売されお客様で賑わいました。他にもリング釣りゲームや健康チェック、バルーンアート、キッチンカーもあり、地区内外から多くの方々にご来場いただき成功裏に終了することができました。ありがとうございました。



八天遺跡第8次調査 現地説明会開催

去る、10月23日(土)午前の部(更木地区民対象)と午後の部(一般)に分けて北上市文化財課の説明会が開催され、あわせて128名の方が来場しました。

今回の発掘調査の成果として、大量の遺物を出土する盛土遺構が確認されました。盛土遺構は長い年月をかけて営まれた「もの送り」の場であるか、それとも短期間に行われた地形造成であるかは今後の課題ということでした。



食育体験「畑で見つけた旬の味覚」



去る、11月13日(土)食育体験「畑で見つけた旬の味覚」を地区内の親子9組21人の参加で行いました。地域づくりの食育事業の一環として地元で採れた野菜の美味しさを知ってもらい、食の大切さや食育を通じた地域交流を図ろうと、ヤサイノイトウさんにご協力いただき今回が初めての体験となりました。

子供達は採り方の説明を聞いた後、自分で掘った大根をうれしそうに袋いっぱい詰めている姿が印象的でした。

収穫後はセンターに戻り昼食をいただきました。食改協更木支部の皆さんが野菜をふんだんに使用した料理を作ってくれて、たくさん並べられた料理をおいしくいただきました。

更木しらゆり公園

来年もきれいな花が咲きますように

去る、10月23日(土)更木しらゆり公園にユリの球根植えを行いました。

来年もきれいに咲くようにと願い、土を柔らかくほぐしながら丁寧に作業し、ヤマユリ86球とカサブランカ50球を補植しました。参加した14名の皆さんは、穴を掘る人、植える人に分れ作業しました。

ご協力いただいた更木しらゆり会、大竹地区の皆さん、地域づくり推進委員の皆さんありがとうございました。



更木幼稚園園庭整備



去る、11月27日(土)午前8時より園庭整備を行いました。更木幼稚園対策委員会、更木幼稚園の先生方、保護者の方々や地域づくり推進委員等の方々の協力で毎年行っておりますが、1年経つと立木の枝はかなり伸びており、道路にはみ出している枝や遊具に支障となっている枝などを切っていただきました。作業は1時間程で終了し園庭内はすっきりしました。ご協力いただいた皆さんありがとうございました。

美味しいケーキサレが出来ました!!

2回目の料理教室を11月21日(日)に交流センターで行いました。講師にオーガニックカフェwaccoの小原美智代さんをお迎えし、地元野菜をたっぷり使ったケーキサレを教えてくださいました。ヤサイノイトウさんが作った珍しい野菜、バターナツカボチャやセロリアック、カーボロネロなど、はじめてみる野菜に参加者も興味津々でした。野菜の切り方や炒め方、生地混ぜ方からオーブンに入れるまでの手順を教わりました。焼きあがるとおいしそうなおいが部屋いっぱいに広がりました。参加者は自宅で味わうことを楽しみに持ち帰りました。



健康な食生活についての講演会を行いました

去る、12月2日(木)更木地区交流センターで(株)明治北日本支社の阿部裕子さんを講師に迎え「カラダは食べた物からできている」と題してご講演いただきました。年齢とともに衰えてくる筋力を維持するために、たんぱく質やカルシウムを運動の後に摂ると効果が上がることを教わりました。チーズやヨーグルト等の乳製品がおすすめなそうです。食事・口腔ケア・運動が大切だということなど多岐にわたるお話しでした。最後に「ミルクで元気体操」を参加者全員で行い、おいしい牛乳の試飲をしました。



令和3年度 地区対抗スポーツ大会終わる

今年度の地区対抗スポーツ大会は11月14日(日)で終了しました。コロナ禍の影響で、競技も4種目の開催となりました。開催にあたっては競技用具の消毒や換気を十分に行いながら競技を行い、熱い戦いが繰り広げられました。



令和3年度地区対抗スポーツ大会総合成績表

順位は表のとおり、総合優勝は7区、準優勝2区、3位5区でした。これからもスポーツを通じて体力の維持増進や親睦を図っていききたいと思います。

また、第31回北上市民体育大会は競技の中止が相次ぎましたがパークゴルフと野球に参加できました。

開催日	競技	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区
6/20日	ソフトボール	3位	4位	棄権	棄権	4位	2位	1位
10/24日	バドミントン	5位	2位	棄権	1位	3位	5位	3位
11/14日	ソフトバレーボール(フリーの部)	4位	棄権	棄権	2位	3位	棄権	1位
	ソフトバレーボール(50歳以上の部)	5位	2位	棄権	棄権	4位	3位	1位
11/14日	卓球	3位	2位	棄権	3位	5位	5位	1位
総合順位		4位	2位	7位	5位	3位	6位	1位

「乱場館」(らんばだて)

更木臥牛に、乱場館という所があります。東側は猿ヶ石川に接し北は乱場沢の谷があり、南側は岩が折り重なっている高台で、自然の要害となっています。ここには、次のような言い伝えがあります。

むかし、ここは和賀氏の家臣である小田島氏の居館でありました。ここへ安倍氏の一族がやって来て、地理的条件に恵まれたこの地に城を築くように命じました。工事が進みやがて出来上がろうという頃、高台の中程に小さな洞穴があるのを見つけました。人夫がその穴を掘り崩そうとしたところ、急にわけのわからない病にかかり苦しみ始めました。ほかの人夫が崩そうとすると、その人夫も同じような病となりました。

人夫達は、この不思議な出来事におびえて工事に出て来なくなってしまいました。完成を間近にして工事が中断され、疑いをもった主はこの洞穴を部下によく調べさせたところ、狐が住む穴であることがわかりました。「これは、きっと狐の祟りに違いない。その場所一帯をそのままに残し、誰も立ち入ることのないように！」とついけ直ぐ側に稲荷大明神を祭った祠(ほくら)を建てさせました。この事があってから、急病で倒れた人の容態もからりとよくなり、再び城の工事が続けられました。

城が完成したある日、主の前に体は小さいが尾の太い、一匹の老いた白狐がひよっこり出て来て「これは旦那さま、私はこの下に住む狐でございます。私の住む洞穴をお守り下さいまして有難うございます。そのお礼に、旦那さまの身に變事が起こりそうな時には、きっとお知らせしてさしあげましょう。」と言って姿を消してしまいました。それ以来、主の身に變事が起こった時には必ず白狐が鳴き叫び、城の人達や里の人達に知らせてくれました。そのため、人々はこの狐を大切に保護してやるようになりました。しかし、前九年の役で八幡太郎義家の軍がこの城に近付いた時、流れ矢を受けてあの白狐が死んでしまいました。城の人達も義家の軍の猛攻撃に会い敗れ落ちて行きました。

その時に、鐘と飯炊釜を下の谷に投げ込んだと言われます。今でもそこを強く踏むと、ガンガンと音がすると伝えられ、また、館の上に生えるワラビは少しの苦みもなく、アク抜きもしないでそのまま煮て食べられるということです。それは当時、カガリ火を炊いた場所であったためと伝えられています。(北上の伝説と昔話より)

シリーズ Vol.4

更木の神社・仏閣の紹介



新山神社 (しんざんじんじゃ)

新山神社は延文2年(1356年)羽黒修験者「大福院」が早池峰山の新山宮を山寺に祀ったと伝えられています。

新山神社は深山神社とも書く、明治維新の神仏分離前は神社の称え名はなく深山大権現と称したが維新後新山神社と改め、祭神は「瀬織津姫せおりつひめの命」である。藩政時代には南部氏の支族、南家の祈願所で毎年奉幣使ほうへいしの派遣があり、さらに神社の領地をあたえられたと伝えられています。神社の例大祭は11月2日に行っています。

福島県大熊町立 大熊小学校へ もち米支援

大熊小学校へ今年ももち米と白米の支援を行いました。今年は更木町振興協議会からもち米16kg、更木小学校からは学校田で収穫した更木のしずく米(ひとめぼれ)15kgを送りました。

大熊小学校は今年度から中学校と併設になり、令和4年の2月に地区の方々と餅つきを行う予定になっているそうです。楽しい餅つきになるといいですね。

この支援活動は大熊小学校が会津若松へ避難している間継続していく予定です。

1月のおもな行事予定

- 8日(土) 午後 1時 R3年北上市成人式
- 9日(日) 午後 1時 R4年北上市成人式
- 13日(木) 午前 9時 世代間交流会
- 15日(土) 午前10時 更木地区スキー教室
- 22日(土) 午前10時 しらゆり塾演奏会
- 26日(水) 午後 1時30分
ふれあい福祉委員会
- 27日(木) 午後 2時 更木区長会議



福祉だより第94号 ～ふれあいデイサービスの様子～

新型コロナウイルス感染症対策の為に、中止していた「ふれあいデイサービス」ですが、11月から運営ガイドラインに沿って各地区で開催しております。みなさんが待ち望んでいた「ふれあいデイ」でしたので、どの地区も活気あふれる様子が見られました。

2区 わかば会



5区 八天福寿草



7区 臥牛山ゆり会



明るく照らしています

更木地区交流センターの道路沿いにイルミネーションを点灯しています。

ささやかですが、少しでも明るい気持ちになれば幸いです。1月末まで点灯しておりますのでお近くをお通りの際は、ぜひご覧ください。



喜久盛酒造から 酒粕の無料提供 について



Sakekasu

今年も喜久盛酒造株式会社様から酒粕の無料提供の申し出がありました。

時間は平日の午後5時までです。土、日曜日は定休日となっております。また、酒の搾り具合により酒粕がない時もありますので連絡してから訪問願います。

【問合せ先】

喜久盛酒造株式会社 ☎66-2625

除夜の鐘をつきましょう

大晦日(おおみそか)には、みんなで除夜の鐘をつきましょう。除夜の鐘は、もともとは108個の人間の煩惱を表し、その厄を払うためにつくものでした。今では、大晦日にその年を振り返り、新年を気持ちよく迎えるためにつかれるようになりました。みなさんも、新たな年を迎えるにあたり、除夜の鐘をつきましょう。

日時/12月31日の午後11時45分頃から始まります。

およそ午前2時まで行います。

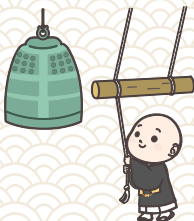
どなたでもお気軽にご来場ください。

場所/永昌寺境内にて

内容/除夜の鐘つき、元朝祈祷

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため温かい飲み物振舞いはいたしませんのでご了承ください

協力/野沢地区無尽の会



どんど焼き

新年の1月16日(日)永昌寺に於いて、どんど焼きをおこないます。

新年の門松やしめ縄、お守り、破魔矢などをお持ちください。どんど焼きでお焚き上げをして、新しい年のコロナ退散、無病息災を願いましょう!

期日/令和4年1月16日(日)

午前9時～正午ごろまで

場所/永昌寺 駐車場内

対象/門松、しめ縄、お守り、破魔矢、

お札などの燃やせるもの

※プラスチックや金属類はあらかじめ外してお持ちください。

※家庭ごみ等は、持ち込まないでください。

